

- 1 主 題 <B-(10) 信頼・友情>
 2 資料名 「メールの返信」 出典：明るい心
 3 本時の指導 相手の気持ちを尊重するとともに、自分の考えや意見をきちんと伝えよう

(1) ねらい

- ・ ナナの言動に対してのユミの発言を考えることを通して、よりよい友情関係を育んでいこうとする気持ちを高める。

(2) 準備

場面絵、センテンスカード、吹き出しカード、ホワイトボード、ワークシート

(3) 指導過程

区分	学 習 活 動	指導上の留意点・支援
方向 づ け る	5 分 1 友達付き合いで何に気をつけていますか。 ・ 悪口を言わない ・ 優しくする ・ 友達でも注意する ・ けんかしても謝る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の友達との関わり方について考えさせ、資料への導入をする。 ・ 発言が出ない場合には、教師が見てきた児童の様子について紹介する。
価値 の 追 究 把 握 ・ 自 己 の 生 き 方 の 実 感	30 分 2 本資料を聞き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> もしあなたがユミなら、次の日学校でナナに対して何と言いますか。 </div> (1) 自分の考えをワークシートに書く。 (2) 考えを発表する。 <受け入れる> ① ごめんね。相談に乗るよ。 ② ごめんね。これからは話してね。 ③ 今でもよかったら話して。 ④ ナナちゃんと仲直りしたいな。 <突き放す> ① 私の気持ちも考えてよ。 ② 9時以降はメールできないって言ったよね。 ③ 冷たいっておかしくない？ ④ 親友なのにそんなこと言わないで。 <わがままを正す> ① 親友って言われてとてもうれしいよ。わたしもナナちゃんのこと考えるから、ナナちゃんも私のこと考えてね。 ② メールルールは守りたいから、これからの相談があるときはどうすればいいか決めよう。 (3) ワークシートに書いた時点で、自分がどんな気持ちなのかを心のメーターを使って確認し、挙手をする。 (4) 出た意見への付け加えや、なぜその発言をするのか理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人公の様子が視覚的に分かるように、場面の絵やセンテンスカードを提示する。 ・ 資料に興味をもつことができるように教師が読み聞かせをする。 ・ 本時の発問につながる重要なできごとは強調して読む。 ・ 児童の発言は、児童とともに板書で分類しながら整理する。 ・ 話し合いをして、自分の道徳的価値を深めたり、級友の意見を聞き、新たな道徳的価値観に触れたりする。 <p>【教師の切り返し】 <受け入れる>の児童に対して ・ 謝ってばかりでいいの。 ・ 自分だけが悪いのかな。 ・ ナナもひどくない。 ・ ここで許したらまた同じ事にならない。</p> <p><突き放す>の児童に対して ・ ナナが怒る気持ちも分かるよね。 ・ ナナと親友なのにそんな言い方していいの。</p>

		<p>(5) 最善の解決策を役割演技で考える。</p> <p>(6) 話し合いを通して、自分がどんな気持ちになるのかを心のメーターを使って確認し、挙手をする。</p>	<p><わがままを直す>の児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんなルールを決めたらいいかな。 • 2人ともが満足するためにはどんな風に話したら、これ以上けんかにならないかな。 • ナナとの関係が切れてしまうけどいいの。 • 理由を述べたり、質疑応答したりすることで、価値への理解を深めたり、自己の価値観の自覚を深めたりする。 • 相手の立場を理解した上で自分の考えを伝えていけるようなユミの発言を考え、最善の解決策をみんなで導いていく。 • 最善の解決策に向けて、様々な意見が出るよう促す。 • どちらかが嫌な思いにならず、二人ともが幸せになれるような策を考えさせる。 • どちらかが不満に思うような発言であれば、本当にそれでよいのか考えさせる。 • 役割演技を通して、考えたことや感じたことを発表する。 • 話し合いを通して自分の考えが深まったことや、変わったことを視覚的に分かるようにする。
まとめ	10分	3 今日授業をふり返って、今後友達付き合いで何に気をつけていくかをワークシートに記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> • 今日の授業で学んだことを今後の生活でも生かせるようにする。

4 反省

5 ご高評